

日本の大手私鉄有料特急

1. はじめに

日本は、狭く細長い国土のため、人々の移動手段として、昔から電車が重宝されてきました。欧米にまねて、明治時代に始めて鉄道を走らせたときは、日本中が歓喜に湧き、日本中の誰もが一度は鉄道に乗ってみたいと思うようになりました。その中で、有料特急は観光用や仕事の出張などで多くの人に利用されてきました。

2. 日本私鉄の傾向

日本の都道府県の大きさから考えると、都道府県を2つほどまたいだとしても、終点から終点までの所要時間はしれています。例えば、これから紹介する近鉄も広大な路線網を持っているにも関わらず、テレビCMでは「意外と近いやん!」という台詞が出てきます。

主に、有料特急を運行できるような大手私鉄各社は、首都圏、関西圏などの大都市付近に本社を置いています。そのため、九州、中国、四国、東北、北海道のほとんどの私鉄では、有料特急は運行されていません。

この稿では、関西方面(南海電鉄、近畿日本鉄道)と関東方面(京急電鉄、西武鉄道)に分けて、日本の私鉄有料特急について言及していきます。

3. 関西の私鉄有料特急

関西、中でも大阪は私鉄大国と呼ばれるほどたくさんの私鉄会社が存在します。そんな関西は、鉄道だけでなくいろいろな交通機関の要所でもあります。

関西の私鉄有料特急は、西日本の経済の中心である大阪と、和歌山、京都、三重などの観光地を結んでいます。

(1)南海電鉄の有料特急

南海電鉄は大阪ミナミのターミナル難波から堺や岸和田を經由して和歌山市までを結ぶ南海本線や、難波から高野山までを結ぶ高野線などを営業する大手私鉄です。また、関西空港へのアクセスも担っており、大阪南部の重要な鉄道です。さらに、高野線は泉北高速鉄道と相互直通運転を行っています。

南海電鉄は「ラピート」という有料特急を運行しています。難波から関西からの遠出には欠かせない関西空港までを結んでいます。「ラピート」という名称は、ドイツ語の“rapid”(速い)という言葉が、由来になっています。その SF 的なスタイルから鉄道ファンからは、「深海潜水艇」「鉄人 28 号」などとも呼ばれています。車内には、スーパーシートと呼ばれる一般の席よりも少し高級な座席があり、全 252 席中 54 席がこの仕様になっています。さらに、「ラピート」の車窓は全て丸型なので、より一層高級感が感じることができるようになっています。外見の仕様もさまざま、これまで、航空会社の Peach や、スターウォーズ/フォースの覚醒などの仕様車両が運行され、注目されています。



(ja.wikipedia.org/wiki/File:Nankai_50000_series_201603210950_star_wars.jpg)より引用

上の写真は「スターウォーズ/フォースの覚醒」仕様の「ラピート」です。子供から大人まで大人気で、発案者である南海電鉄の金森哲朗専務・鉄道営業本部長は大のスターウォーズファンで、「南海電鉄創業 130 周年ともあり、『やるなら今しかない』と思った」とおっしゃっています。

さらに、南海電鉄は他にも有料特急を運行しています。

難波から和歌山港までを結ぶ特急「サザン」や、南海高野線で運行されている特急「こうや」です。

特急「サザン」には難波と和歌山を往来することをイメージしたブルーとオレンジの二本の波のラインが入っています。元々から運行されていた 10000 系「サザン」の他に「サザンプレミアム」と呼ばれる、10000 系に改良を加えた車両もあります。



(左)和歌山市駅に停車する「サザンプレミアム」

(南海電車) 特急サザンプレミアム (12000 系) (なんば～和歌山市・和歌山港 | 座席、停車駅ほか)

(tenhama.seesaa.net/article/431754425.html)より引用

(右)先頭に人気アイドルグループ「NMB48」のヘッドマークをつけた「サザン」

鉄道ホビダス 【南海】10000系特急〈サザン〉にヘッドマーク取り付け

(rail.hobidas.com/rmn/archives/2011/07/10000_5.html)より引用

(2)近鉄の有料特急

近畿日本鉄道(以下:近鉄)は、大阪、京都、奈良、三重、さらには愛知を含む2府3県をまたいでいる日本最大の営業キロ数を誇る大手私鉄です。多くの有料特急が運行されており、鳥羽、伊勢、賢島などの観光名所や、名古屋や大阪といった日本経済の要となる都市を結んでいます。様々な種類の車両で運行されているので、多くの人々に人気があります。

中でも、「ビスタカー」と呼ばれる車両は二階建て構造で下階にはサロン風小客室があり、団体の場合でも大いにくつろぐことができます。1958年に登場し、一世を風靡しました。車内の座席全てにリラクゼーション機能が施されており、ビスタカーⅠ世に始まり、今では1978年に登場して1996年にリニューアル工事を行った「ビスタカーⅢ世」が運行されています。

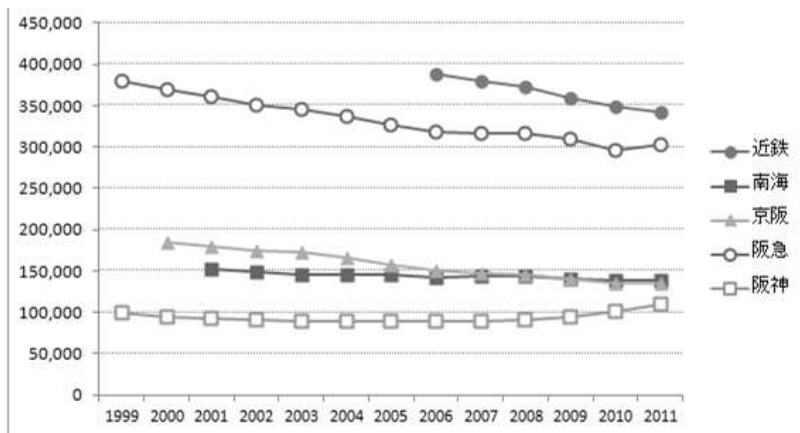
また、2013年に登場した50000系「しまかぜ」も有名です。20年に一度行われる伊勢神宮の式年遷宮に合わせて登場し、旧車両と一線を画した車体構造だった「しまかぜ」は注目を集めました。単に目的地に行って楽しむのではなく、その道中の移動中も楽しんでもらおうという趣向の列車は後の「TWILIGHT 瑞風 MIZUKAZE」や「四季島」といったクルージング列車ブームの先駆けになったともいえるでしょう。当初は大阪難波発着と近鉄名古屋発着の列車しか運行されていませんでしたが、後から京都発着も増発されました。



近鉄山田線 漕代駅～斎宮駅間を走行中の「しまかぜ」
先頭車両から3両目がビスタカー仕様になっています

Wikipedia 近鉄50000系電車 (ja.wikipedia.org/wiki/近鉄50000系電車)より引用

そんな近鉄ですが、最近利用者数が減少傾向にあります



関西私鉄の利用者数の推移(単位：千人)

ヒトの流れがカネの流れを変える 関西鉄道会社の輸送人員数を読む

(blog.nomadicsamurai.com/2012/05/27/272005491.html)より引用

このように、関西の各私鉄の大半が、利用者数が減少しています。(阪神電鉄は、阪神なんば線の開通により、利用者数が増加しています)

主な原因は沿線の少子化にあります。その中で、奈良や、三重など、少子化の進行が速い地域に走る近鉄は、特に利用者数が減少しています。対策として、関西の私鉄が、合同のイベントなどを行うことで手を取り合って、利用者数の減少を防いでいます。

4. 関東の私鉄有料特急

関東といえば、日本の中心であり、私鉄や JR などの公共交通機関が日々の人々の通勤通学を支えています。また、私鉄有料特急が数多く存在します。路線は首都東京から放射状に伸び、数多くの列車が一日に運行されています。

(1)京浜急行電鉄の有料特急

京浜急行電鉄(以下：京急電鉄)は、泉岳寺駅に本社を置き、東京有数のターミナル駅である品川から川崎、横浜を経由して三浦半島方面に路線を延ばしています。また、都営地下鉄や京成電鉄など 5 社と相互直通運転を行っています。

京急電鉄で運行されている有料列車が、「ウイング号」です。

品川から三浦半島方面までを約 80 分で結んでいます。この区間となるとかなり距離があり時間がかかるのですが、そこに有料列車を走らせることで混雑緩和や、利用客に少しでもくつろぎの時間を楽しんでもらいたいという願いからこの列車は設定されました。

「ウイング号」は朝・夕の利用客が多い時間帯に運行されている有料特急です。朝に運行される「ウイング号」は、「モーニング・ウイング号」という名称で、利用状況は 90%を超えるなどとても人気があります。夕方に運行する「ウイング号」も、特に残業がない会社員の方の利用が多いです。以前は全席自由席でしたが、今は全席指定席となっています。



Wikipedia 京急ウイング号

(ja.wikipedia.org/wiki/京急ウイング号)より引用

(2)西武鉄道の有料特急

西武鉄道は、埼玉県所沢市に本社を置く大手私鉄で、有名なプロ野球球団である西武ライオンズと同じグループに属しています。

鉄道事業としては主に、東京都の西武新宿駅や西武池袋駅から埼玉県の秩父周辺を結んでいます。その内、西武池袋線、西武有楽町線、西武秩父線は東京メトロ有楽町線・副都心線、東急東横線、横浜高速みなどみらい線と相互直通運転を行っています。

西武鉄道は「S-TRAIN」という有料列車を運行しています。「S-TRAIN」は2017年に登場した新型車両40000系で運行されています。この車両は平日はロングシートの通勤車両として、土休日はクロスシートの有料列車として運行しています。今は2編成しか導入されていませんが、これからさらに増備される予定です。東京北西部に多くの路線を持ち、日々多くの人々を輸送している西武鉄道ですが、より一層首都圏の通勤を支えるために確実に座ることができる有料列車を新たに設定したことで、「S-TRAIN」の存在は有名になりました。



クロスシート時の「S-TRAIN」 写真の時は有料列車として運行する
S-TRAINとは?:西武鉄道 web サイト

(www.seiburailway.jp/express/s-train/)より引用

さて西武鉄道にはもうひとつ、「レッドアロー号」という有料特急があります。この列車は、池袋線、新宿線の二路線で特急「ちちぶ」、特急「むさし」として運行しており、おもに池袋線では観光客を、新宿線では通勤通学の足として様々な人を、目的地まで快適に運んでいます。全席指定であるため、ゆっくりとくつろぐことで移動することができます。



走行中の2代目レッドアロー号「ニューレッドアロー号」

Wikipedia レッドアロー(ja.wikipedia.org/wiki/レッドアロー)より引用

池袋線では、不定期運行として「ドーム号」という、池袋～西武球場前間を結ぶ列車も運行されています。この「レッドアロー号」は、2代目の「ニューレッドアロー号」が引き継ぎ、さらに、その内のいくつか車両を初代「レッドアロー号」の塗装色に変更した「レッドアロークラシック」としても運行したり、他にも様々なバリエーションの「レッドアロー号」が運行されています。

ちなみに、1993年5月12日に天皇・皇后両陛下が秩父地方へ行幸啓なされた際や2007年3月28日にスウェーデン国王・王妃一行が埼玉県川越市を視察した際には、「レッドアロー号」が臨時列車として充当しました。

5. 最後に

いかかでしたか。この稿を読んでいただいているいろいろな私鉄有料特急の魅力を感じていただければ幸いです。どこかへお出かけの際はこの記事もぜひ参考にしてください。

6. 参考文献

特急ラピート | 南海電鉄

www.nankai.co.jp/traffic/express/rapit.html

東洋経済 「スターウォーズ特急」がグッと来る理由

toyokeizai.net/articles/-/93612

(南海電車)特急サザンプレミアム(12000系)(なんば～和歌山市・和歌山港 | 座席、停車駅ほか)

tenhama.seesaa.net/article/431754425.html

近鉄特急 近畿日本鉄道

www.kintetsu.co.jp/gyoumu/Express/A10002.html

京急電鉄オフィシャルサイト

www.keikyu.co.jp/index.html

電車図鑑：西武鉄道

www.seiburailway.jp/fan/zukan/